

資料1

第1回船橋市地域災害医療対策会議 医療部会

日時：令和6年7月25日
午後7時～

場所：4階診療部門及び
WEB会議のハイブリッド

議題

- 1 部会長・副部会長の選出について
- 2 災害医療対策本部に関すること
- 3 病院前救護所に関すること
- 4 その他

議題1

部会長・副部会長の選出について

部会長・副部会長の選出について

令和6年4月1日付で制定した船橋市地域災害医療対策会議医療部会設置要綱第3条第2項の規定により、部会長及び副部会長は「委員の互選」により決定することとなっている。

○部会長の役割(要綱第5条第1項)

委員を招集し、議長となって議事を整理する。

○副部会長の役割(要綱第5条第2項)

部会長が不在の時、議長代理を務める。

議題2

災害医療対策本部に関すること

1 能登半島地震を受けての班体制の見直し

令和6年度能登半島地震は、震度6強から7を観測し、道路の寸断や多数の建物倒壊等、様々な被害を与えた。

本市としても、搬送体制や外部団体(DMAT・DHEAT等)の重要性を改めて認識したため、災害医療対策本部の組織や役割を資料2及び3のとおり、見直した。

なお、主な見直しは、

- ・外部団体(DMAT等)の確保・受入を担う外部団体調整班
 - ・人的・物的資源の搬送調整を主に担う搬送班
- を新設したところである。

2 本部活動における想定事案

災害医療対策本部の活動において、様々な事案が想定されるが、例として、以下の事例が発生した際の本部の各班における情報の流れを資料4に則りご説明し、ご意見を頂きたい。

例	事案
①	災害医療協力病院から至急対応が必要な重症者の搬送依頼があった場合
②	病院前救護所を設置していないA病院から、敷地内に傷病者が多数（50人程度）殺到しているが、院内に入れることができず、その対応について相談があった場合
③	B病院（病床数：200）の機能維持が難しく、入院患者全員（140人）を他病院に移送しなければならない場合

3 災害医療対策本部運営訓練について

11月の市総合防災訓練に併せ、災害医療対策本部と病院前救護所を同時に立ち上げる訓練や1月の図上訓練において、前スライドの事案等が発生した際、災害医療対策本部の各班が適切な行動をとれるかを検証していきたい。

日程	内容	参加者
令和6年 11月24日(日)	船橋市総合防災訓練 板倉病院前救護所設置・運営訓練	各師会 市職員
令和7年 1月30日(木)	災害対策本部図上訓練 災害医療対策本部運営訓練	市職員のみ

議題3

病院前救護所に関すること

1 一巡目の訓練実績

令和5年度をもって、市内9箇所の災害医療協力病院での一巡目の訓練が終了した。

平成30年11月18日	千葉徳洲会病院
令和元年6月9日	二和病院
令和元年10月27日	板倉病院
令和4年10月15日	船橋中央病院
令和5年3月31日	東船橋病院
令和5年9月16日	青山病院
令和5年10月8日	船橋総合病院
令和5年11月11日	セコメディック病院
令和5年11月18日	北習志野花輪病院

2 二巡目の訓練計画

災害医療協力病院9病院のうち、令和6年度は下表の5病院、令和7年度はその他の4病院を実施する予定。

日程	病院名
令和6年9月14日（土）	千葉徳洲会病院
令和6年10月19日（土）	船橋中央病院
令和6年11月2日（土）	船橋二和病院
令和6年11月24日（日）	板倉病院（総合防災訓練と同日開催）
令和7年2月22日（土）	東船橋病院

※市主催型の訓練を実施しない年度についても、病院企画型の訓練を実施していただきたい。

3 二巡目の訓練想定

平成29・30年度船橋市アセスメント調査(地震被害想定)報告書に基づく被害想定を参考に訓練を実施する。

項目		アセスメント調査結果による被害率	訓練想定 の例
建物被害	全壊・焼失	約12%	救護所の設置・ 運営に支障なし
	半壊	約15%	
鉄道施設被害		約80% (不通)	参集者が不足
ライフライン (発災直後)	電力	約89% (停電)	使用不可
	上水道	約65% (断水)	使用不可
	下水道	約3% (機能支障)	使用可
	都市ガス	100% (供給停止)	使用不可
	医療ガス	— ※阪神淡路大震災では、 約13%の配管が損壊	使用可

➤使用不可の機能は各病院の備え(自家発電機等)により
対応可能か検討

4 二巡目の訓練実施項目

一巡目で実施した内容に加え、以下項目の実施を検討していきたい。なお、以下項目は、取り組みの一例であり、具体的には各病院と調整をしていく。

- ①傷病者が多数殺到したことを想定し、複数レーンでのトリアージの実施
- ②鉄道施設被害(公共交通機関の乱れ)により、病院前救護所における参集人員が整わない中でのトリアージの実施

例)初めの何症例かは、救護所の参集人員が不足する中で対応し、その後、徐々に人員を増やして救護所の運営を行っていく等

4 二巡目の訓練実施項目

③ 訓練想定を踏まえ、使用不可の機能（ライフライン等）に対して、代替手段による対応）

例) ・中等症以上の患者を院内で受け入れるとき、院内が停電した場合でも、自家発電機により対応が可能か。

・電力や自家発電機の燃料が不足した際、院内本部から、災害医療対策本部まで支援要請の情報がスムーズに伝わるか。

5 各師会の研修等の実施状況について

昨年度開催の作業部会では、病院前救護所での活動に必要な知識(トリアージタグの記載方法等を含む)を得るための研修等を開催するなどの取り組みが必要とご意見を頂いていた。

今後、病院前救護所の体制をより一層強化するため、まずは各師会の研修状況等の現状を把握させていただき、今後の取組の参考とさせていただきたい。

議題4

その他

- ・災害時状況共有システムについて

1 加入状況

災害時状況共有システムについて、市医師会及び市薬剤師は既に参加をされていたが、今年度、新たに市（自治体アカウント）も参加した。

今年度の訓練において、本システムを使用するなど、具体的な活用方法を検討していきたい。

2 活用イメージ

【訓練での活用想定(案)】

(1) 各師会の安否状況の確認

(2) 病院前救護所における参集状況の報告

(3) 各クリニック等における被災状況の報告

→(1)～(3)の全てないしは一部を訓練に取り入れることで、実災害時での迅速な情報共有につなげる。

2 活用イメージ

(1)・(2)各師会の安否・参集回答状況の確認

<u>各会の安否回答状況</u>						
名前	安否メール	総数	無事	負傷	未更新数	更新率
船橋市医師会	未送信	126人	4人 (3%)	0人 (0%)	122人	3%
船橋薬剤師会	未送信	210人	10人 (5%)	0人 (0%)	200人	5%

<u>各会の参集回答状況</u>						
名前	参集メール	総数	行けます	行けません	未更新数	更新率
船橋市医師会	未送信	126人	0人 (0%)	0人 (0%)	126人	0%
船橋薬剤師会	未送信	210人	1人 (0%)	0人 (0%)	209人	0%

【訓練における狙い】

各師会の本部システムから安否・参集確認メールを送信し、各会員の安否・参集情報の共有が各師会及び市に適切に届くかの検証を行う。

2 活用イメージ

救護所名	場所	参加者	船橋薬剤師会	船橋市医師会		
1 船橋二和病院	変更	確認	$\frac{0}{6} + 0$	$\frac{0}{0} + 0$		
2 青山病院	変更	確認	$\frac{0}{10} + 0$	$\frac{0}{0} + 0$		
3 板倉病院	変更	確認	$\frac{0}{8} + 0$	$\frac{0}{0} + 0$		
4 船橋中央病院	変更	班長	氏名・所属	活動状況	安否	参集
5 東船橋病院	変更		非公開	-	未回答	未回答 コメントなし
6 北習志野花輪病院	変更		非公開	-	未回答	未回答 コメントなし
7 セコムメディック病院	変更		非公開	-	未回答	未回答 コメントなし
8 千葉徳洲会病院	変更		非公開	-	未回答	未回答 コメントなし
9 船橋総合病院	変更		非公開	-	未回答	未回答 コメントなし

2 活用イメージ

(3) 各クリニックにおける被災状況の報告

医療機関の状況

↓ダウンロード

会員数	診療可	診療不可	未更新数	更新率
296施設	8施設 (3%)	0施設 (0%)	288施設	3%

停電	断水	浸水		毒劇物	
		床上	床下	保管庫水没	流出
0施設	0施設	0施設	1施設	0施設 (取扱：0施設中)	0施設 (取扱：0施設中)

Search

名称	更新	状況	情報更新時のコメント	停電等の被害情報
	未			

【訓練における狙い】

EMISでは表示されないクリニックの被災情報が適切に本市へ共有されるかを検証する。

2 活用イメージ

(参考) 各薬局における被災状況の報告

薬局の状況					
↓ ダウンロード					
会員数	営業可	営業不可	未更新数	更新率	
211薬局	4薬局 (2%)	0薬局 (0%)	207薬局	2%	
停電	断水	浸水		毒劇物	
		床上	床下	保管庫水没	流出
0薬局	0薬局	0薬局	0薬局 (取扱：0薬局中)	0薬局 (取扱：0薬局中)	
Q Search					
名称	更新	状況	情報更新時のコメント	停電等の被害情報	
■■■■■	05/20 10:57	通常通り		被害無し	